



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

「まずは逃げる」徹底を

山田町長の熱海で地震防災講演



東日本大震災の教訓を語る白土室長
―熱海市内

熱海市主催の地震防災講演会がこのほど、同市内で開かれた。東日本大震災で被災した岩手県山田町の白土靖行危機管理室長が、津波や直後の火災被害などを振り返り、「今必要なのは地震が起きたら逃げるというシンプルな考え方で津波対策を進めること」と訴えた。白土室長は「津波被災者は帰る家が無く、避難所から出て行けない」と話し、病人への

医療処置や投薬の難しさ、被災者の自立心の維持など避難所生活を続ける上での課題を挙げ、平素からの物資の備えや地域力の蓄え、住民同士の役割分担の大切さを強調した。親が迎えに来たために避難場所の学校を離れ、津波に遭難した子供の例にも触れ、「津波てんでんこ」という言葉は、自分は逃げるから（家族は自分を探しに来なくて良いと、

まずは自分の身は自分で守るという教えだと思つ」と話した。講演会では熱海所記念病院の杉浦誠院長も講師を務め、トリアージなど災害時の医療活動について話し、消防団や自主防関係者ら約300人が聴講した。

2013年2月5日朝刊 東部版

① 地震防災講演会で講演したのは、どこの人ですか。

〔 〕県〔 〕町

② 講演の中で訴えた、「津波対策で必要な考え方」は何ですか。

〔 〕が起きたら〔 〕。

③ 「津波てんでんこ」という言葉は、何を教えていますか。記事から書きましょう。

年 組 名前

(小学校高学年 総合)